◆喫煙所の移動について

とあるコンビニエンスストア敷地内にある灰皿の周りに喫煙者が多く、コンビニ駐輪場の横なので、コンビニを利用する人や通学路で横を通る子どもなどにも影響があると以前から聞いていた問題。改めて近所の町内会に住む民生委員からの苦情もあり始動。

１０/７　まずは、市健康増進課からの指導を要請。受動喫煙防止指導員が調査に行き、市のガイドラインにより配慮をお願いする。現在、その報告待ち。

１０/１２　市健康増進課より報告。１０/９受動喫煙防止指導員がコンビニに行き、店長と丁度来ていたエリアマネージャーとも配慮の要請したところ、他からの苦情もあり、灰皿の移動を検討中とのこと。大変配慮することに理解を示され、１０/１２時点で灰皿を南側に移動確認。

◆路上生活者等への緊急医療対応について

１０万円の定額給付金の請求期限が迫る中、湘南台駅の路上生活者たちが申請をしているか確認に回った際に、ある方に持病があり以前にも市民病院に入院したことがあるという話を聞き、今後もそのような事態があった場合やそういう場面に遭遇する方々にも知っていてもらえるように市生活援護課での確認です。ただし、そのような対応のできる医療機関は事前に認知していないと対応できない。主に救急などに関わる医療機関には周知されているとのこと。

◆​街路灯の長期消灯状態の解消について

​慶応大前の街路灯が去年の台風１５号の被害を受けて消灯して以来、地元の方々から早期改修を求める声がありながら、放置されているとのご指摘があり、早速現地を確認して市道路整備課と調整。現場は、慶応大学前の交差点から大通り１００mほどの街路灯一帯が夜間も点灯しない状況。台風時の雨水が入り込み漏電状態になっているらしいのだが、単体ではなく、連続柱という大通り沿いなどに用いられる一体的な設置方法により、全体のどこかで漏電しているとどこが修繕個所だかが分からずに、業者に依頼しているのだが改修に時間がかかっているという事だった。灯具の付け替えについても、デザイン性を重視した設計で調達に時間がかかるという課題も。

（しばらくして、応急対応で電灯が点いたとの報告あり）

　　